



梅枝輪ゴム銃

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

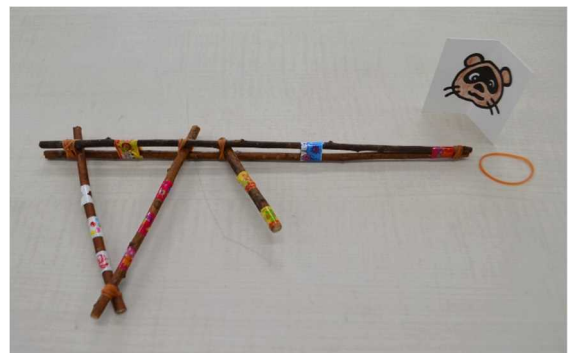
- ・自然素材を材料とし、オリジナルのおもちゃ作りを楽しむことができます。
- ・輪ゴムという身近な材料を使って、部品を結束させる技術を学ぶことができます。
- ・道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：技術・家庭など

2 活動の概要

自然の家近隣に生息する「北限の梅」の枝を使って、輪ゴムをとばすことができる「輪ゴム銃」を作る活動です。梅枝の結束には輪ゴムを使用するため、やけどやケガなどを気にせず、安全にすることができます。装飾にカラーテープなどを巻き付けることで、オリジナルな自分だけのおもちゃ作りを楽しむことができます。

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 小学校3年生以上
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1～1.5 時間
(説明15分+活動45～75分)
- (5) 場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6) 経費 30円／1作品
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



＜梅枝輪ゴム銃と的（右上）＞

3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	特になし
自然の家	材料：梅枝、輪ゴム、カラーテープ、厚紙 用具：剪定ばさみ、油性ペン、色鉛筆、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。 ※梅枝を剪定ばさみで切れない子どもには切ってあげるなどの支援をする。

5 活動の流れ

	内 容	
説 明	- 参考作品を提示しながら、作り方について説明 - 用具の使い方と安全について説明	
活 動	① 梅枝を3種類に分けて切る。 「長」を2本、「中」を2本、「短」を1本、計5本を剪定ばさみで切って準備する。 ※剪定ばさみでうまく切れない子どもには引率者（大人）が支援する。 ② 「長」を2本合わせて、両端を輪ゴムでとめる。 ※輪ゴムでのとめ方がうまくできない子どもには引率者（大人）が支援する。 ③ 「中」を片側に三角状に取り付け、輪ゴムでとめる。 「持ち手」となるため、持ちやすい距離に合わせて取り付け位置を調整する。 ④ 「短」を斜めに取り付け、輪ゴムでとめる。お好みでカラーテープなどで装飾する。 「トリガー」となるため、手が届く位置に調整する。 ⑤ 厚紙に好きな絵などを描き、真ん中に折り目をつけて的を作る。 ⑥ 先端部からトリガーの間に弾となる輪ゴムをつけて完成。的に向かって撃って遊ぶ。	長: 約 30 cm × 2本 中: 約 15 cm × 2本 短: 約 8 cm × 1本 輪ゴム カラーテープ 斜めにつける BOY JU
まとめ	- 感想発表や友達の作品の鑑賞 - 用具の返却と後片づけ	

6 安全に実施するためのポイント

- 剪定ばさみは、両手を使って切るなど、指や手をはさまないように十分気をつける。
- 人に向けて撃たないように、あらかじめ約束事を決める。
- 低学年が実施するときには大人がつくことが望ましい。